



栽培面積 : 4 ヘクタール
 平均樹齢 : 35 年
 年間平均生産量 : 13 000 本
 ブドウ品種 : ピノ・ノワール

2018年のヴィンテージ

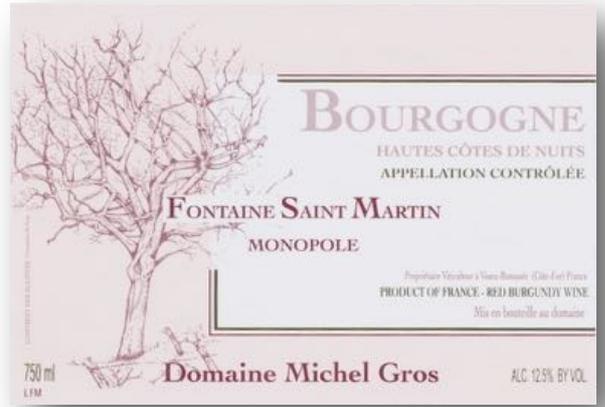
非常に暑く、乾燥した春夏に特徴づけられた2018年は、ブドウが早熟し、非の打ち所なく健全に完熟したブドウが収穫できました。

2017年が幕を閉じ、2018年が明けたその冬、ブルゴーニュの冬としては比較的温暖で雨がちな天候がつづき、しっとりとした清涼な早春を迎えました。その時点ではこの年のブドウの成長はむしろ遅いだろうと考えられましたが、4月に暑い天候が再来。それまでの読みを大きく修正せねばならず、夏の終盤まで猛烈な勢いでブドウは成長していきました。私たちの栽培チームは、このハツラツとしたブドウの伸びに遅れをとるまいと、仕事のペースを2倍に吊り上げ、ハイスピードで追い上げていきました。5月末になるとブドウが開花し、開花期は理想的な状態で過ぎていきました。この分だと9月初旬には収穫になるだろうと予想されました。春、夏と雨量が足りなかったことも、私たちのブドウ畑ではそれほど問題にならず、おそらくは冬の間に地下に蓄えられた水が、ブドウの成長の供給源になったのだろうと考えられました。

7月には何度か雷雨が訪れ、9月初めにブドウが完全に成熟するための良い水分補給となりました。残念ながら、7月3日と15日の雷雨で襲った雹は、私たちのオート・コート・ド・ニュイの畑のブドウを傷つけ、このとき平均50%のブドウを失いました。また、ニュイ・サン・ジョルジュのレ・シャリオの区画では、約30%のブドウを失いました。

私たちのドメーヌでは、9月4日にコート・ド・ニュイのクリュから収穫を開始し、9月17日にオート・コート・ド・ニュイの畑で収穫を終えました。収穫したブドウは文句のつけどころのないパーフェクトな状態、その中から更に良いブドウを選び抜くなど、ほとんど必要はありませんでした。ただ、雹害に遭った区画のブドウだけは綿密な選果の必要があり、幸運にも、視覚機能を備えた選果機を使用することができ、雹で傷ついた粒をすべて除けることができました。

一般年と比べてブドウが早期に成熟し、収穫期が早めに訪れたこと、そして収穫されたブドウが完全なる健全な状態で完熟していたこと、それらの好条件を背景に醸されたこの年のワインは、暑い年でもブドウのフレッシュさを保った偉大な純粋さがあり、はじけるような果実味が生き生きと表れています。これならば長期熟成を遂げるポテンシャルを秘めた偉大なヴィンテージだと、今からでも予言することができます。



2018年を一言で語るなら、太陽のヴィンテージ。太陽が与えてくれたピュアで魅惑的な味わい、きめ細かなタンニン、しなやかなボディ、良質の酸。こういったヴィンテージのワインは、忍耐強くワインが熟す時を待った、愛好家たちに大きな喜びを与えてくれるはずです。

「天候面」だけをとって過去のヴィンテージに例えるなら、2003年、2009年に類似性があると言えるでしょう。

プレスリリース



October 2020 : 17/20



Allen Meadows, 10/01/2020, Issue 77

The nose is still redolent of malolactic aromas and impossible to read in this condition. However, there is good freshness and richness to the caressing and solidly concentrated middle weight flavors that are perhaps a bit less mineral-driven than usual on the generously proportioned and reasonably refreshing finish.

Burgundy Report

Bill Nanson, Spring 2020

Deeper coloured – more the 2018 vernacular of colour here. Directly, this is an impressive nose of darker fruit and much floral complexity. More structural in shape, the fruit favours are higher-toned, darker and floral inflected. There's a little youth to this wine – it will certainly be better with a little patience but this is already a great drink for a Bourgogne – fresh, complex and deliciously flavoured – a great, open, florality in the finish too. Bravo!



Juin-Juillet-August 2020

Floral notes, a little vegetal on the nose, which precede a slender, tight, austere palate. The profile is a little harsh, dry on the finish. Fairly simple wine at this point. 14/20

Burgundy Briefing

Sarah Marsh, November 2019

Slightly more refined aroma. Straight, elegant. This has bite and piquancy. A refreshing snap.



International Challenge 2021
 Gold medal